

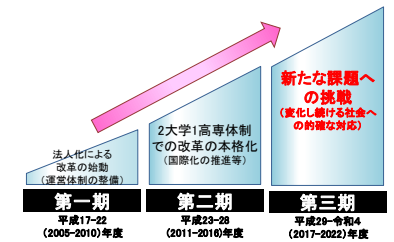
# 東京都公立大学法人 令和2(2020)年度 年度計画概要

## 第三期中期計画

～一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジの展開～

【重点方針】(計画期間:平成29(2017)年度から6年間)

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化



## 令和元(2019)年度 中期計画の変更 ～大学・法人の名称変更を機に教育研究を更に充実～

### 令和2(2020)年4月に大学・法人の名称変更

首都大学東京 → 東京都立大学

産業技術大学院大学 → 東京都立産業技術大学院大学

東京都立産業技術高等専門学校(変更なし)

公立大学法人首都大学東京 → 東京都公立大学法人

- ◆ 都立の大学・高専としての存在意義の明確化
  - 都や区市町村との連携事業拡充、工学分野の拠点強化による産学公連携の推進、連携推進組織の機能強化
  - 各大学・高専の強みや特色の戦略的発信による認知度・ブランド力の向上
- ◆ 社会のニーズを捉えた教育プログラムの充実
  - 各大学・高専の特色を生かし、新時代に求められる人材を育成
  - 多様な学生(社会人、シニア層、留学生)の受入れを推進

## 令和2(2020)年度の基本方針

～変更後の中期計画の達成に向け、更なる飛躍の実現に向けた計画を立案～

### 教育・研究の充実

豊かな人間性と創造性を兼ね備えた世界で活躍できる人材の育成のため、教育研究内容の充実や環境整備を推進

### 社会貢献の推進

生涯現役都市の実現や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連する取組を効果的に行うなど、都との連携を強化するとともに教育研究成果を社会に積極的に還元

### グローバル化対応の加速

学生の留学支援や留学生の受入れを拡充するとともに、世界の大学等との国際交流・連携の更なる充実を図るなど、質・量の両面から国際化を加速

### 組織運営基盤の強化

名称変更を契機としたプレゼンス・認知度の更なる向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、ライフ・ワーク・バランスの推進、施設設備の計画的な更新・整備

## 東京都「未来の東京」戦略ビジョンへの対応

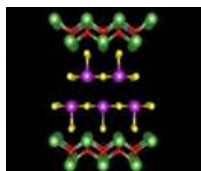
- ◆ 東京都立大学を、高度な人材を育成・輩出し、世界的な課題を解決するための新しい知を生み出す大学へと進化
  - トップ研究者の招へい、将来を担う若手研究者の支援・育成等により、ノーベル賞クラスの研究実現に向け研究力を向上
  - 5Gを活用した研究環境の整備などにより、研究成果の社会実装、スタートアップ等の支援を推進
- ◆ グローバル化の深化、Society5.0の実現、人生100年時代の到来など、新時代に求められる人材を育成
  - 先端技術の専門人材の育成、新しいものづくりを牽引する人材の育成、社会人の起業・創業に向けた教育プログラムなど

## 現状

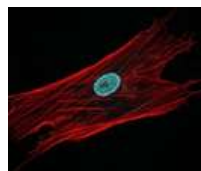
## (令和元(2019)年度までの主な取組)

- 2件の大学院分野横断プログラムにおいて、初めての修了者を輩出
- 進学後の有益な学修・研究のため、大学院授業科目の早期履修制度を導入
- 国内外の大学・研究機関等と連携し卓越大学院プログラムの学生を受入れ開始
- 博士後期課程活性化のため、キャリア形成科目を開講するとともに、修了後も一定期間研究活動ができる博士研究員制度等を開始
- 東京都教育委員会との包括連携協定に基づいた連携事業を実施

【大学院分野横断プログラム】



【超伝導理工学プログラム】



【生体理工学プログラム】

- 国際共著論文割合や被引用度トップ10%論文割合増加に向けた支援や国際シンポジウム開催支援を実施
- 英文プレスリリースや研究広報誌等による国内外への効果的な研究広報を実施
- 科研費セミナーや説明会等を開催するとともに、研究計画調書作成支援を実施



【第2回科研費セミナー】



【研究広報誌Miyacology】

## 令和2(2020)年度 年度計画



都立大

## ◆教育改革の推進のための教育課程の見直し

- ・ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育活動を実質化するため、カリキュラム・マップの見直しやシラバス様式を検討 (1-01)
- ・学部段階から法科大学院と連携した教育を行う**法曹コース(法曹養成プログラム)を開設、運営 (1-01)**
- ・情報科目や文系向けSTEM科目、理系向け人文社会科目等、幅広い分野を学修できる**全学共通教育プログラム導入に向けた方針の決定(1-01)**

## ◆多様な学修機会の確保

- ★**卓越大学院プログラム**や企業等と連携した実践的なPBL教育等を実施するとともに、**Society5.0に対応したリカレント教育へのニーズ等を調査・検討 (1-03)**

## ◆学生への支援体制の充実

- ・国の高等教育修学支援新制度の対象校として確実に授業料等減免を実施 (1-13)

## ◆入試改革・高大連携の推進

- ・大学入学者選抜改革に対応するため、「学力の3要素」の多面的評価を目的とした**学部入試制度及び選抜方法の分析・設計、多様な選抜の募集人員拡充検討等を実施 (令和3年度入試予告:30%) (1-16)**
- ・東京都教育委員会や都立高校等との連携を強化し、都立高校生等に大学レベルの課題研究を実地に学ぶ機会を提供 (1-18)

第三期の  
方向性

「本物の考える力」を身につけるための教育を推進



【令和元年度実施東京都教育委員会との連携事業】

【第3期KPI】

★AO入試等の多様な選抜  
募集人員全体の30%

## ◆先進的課題の研究

- ★**ローカル5G環境等の研究環境を活用し、高度通信社会における課題解決型研究やSociety5.0の実現に向けた社会実装を促す研究を推進 (1-20)**

## ◆研究力強化、将来を担う研究者の支援・育成

- ★若手研究者を中心に戦略的に研究費を配分する研究支援制度を創設 (1-24)
- ★研究力の更なる向上に向け、**令和3(2021)年度からトップ研究者を招へいする仕組みや研究環境等を整備 (1-25)**
- ★若手研究者海外派遣支援制度の適宜改善を実施するほか、**海外での研究に専念できる環境を整備し、研究力の強化を実施 (1-26,1-52)**
- ・他大学の申請数増加による競争激化の中で、**科学研究費補助金の新規採択率の向上や大型研究プロジェクト獲得のための申請書作成支援等を実施 (1-28)**



【科研費講習会の様子】

## ◆先端研究環境の整備

- ★南大沢及び日野キャンパスに**ローカル5G環境等を整備 (1-29)**

第三期の  
方向性

大都市の先進的課題解決に資する研究を推進

対応報告事項

評価結果反映事項

【第3期KPI】

★国の大型プロジェクト  
12件以上獲得  
★科研費新規採択率 30%

## 現状

(令和元(2019)年度までの主な取組)

- 社会情勢を反映した東京都への施策提案や行政ニーズと研究シーズのマッチング強化のための研究シーズ集の作成等、全学的な東京都との連携推進の取組を強化
- 東京2020大会など、様々なボランティアの場面においてリーダーとして求められる知識・技術を持つ学生を育成
- 日野キャンパスの産学公連携スペースの検討を実施
- TMUプレミアム・カレッジを開講し、様々な経験を積んだ50歳以上の方へ学びと交流の場を提供

【TMUプレミアム・カレッジ  
フィールドワークの様子】【東京都と共催した語学  
ボランティア育成講座】

社会貢献

## 令和2(2020)年度 年度計画



都立大

## ◆東京都及び関連機関との連携推進

対応報告事項

- ・組織再編により東京都との連携体制を強化した産学公連携センターを中心に、より一層社会情勢を的確に反映した施策の提言・提案や新たな学際的大型プロジェクトの組成を実施 (1-31)
- ・東京2020大会に向けて、これまで以上に障がい者スポーツの理解促進と裾野拡大を図るとともに、大会後は培われたボランティア文化・スポーツ振興・被災地支援の機運を大会レガシーとして継承 (1-32)

【ボランティアの様子  
(東京都障害者スポーツ大会)】

【健康福祉学部長杯ボッチャフェス】

## ◆産学公の連携推進

対応報告事項

- ★既存の大学発ベンチャーへの支援を継続するとともに、更なる創出に向け、大学発ベンチャー促進施策の拡充について検討・実施 (1-37)
- ・多摩地域における産学公連携拠点として、日野キャンパス新棟の産学公連携スペースの活用方法について具体的な計画を策定 (1-38)

## ◆リカレント教育のための学修環境整備

- ・発足する生涯学習推進センターで、都立大における生涯学習をより一層充実
- ★東京都立大学プレミアム・カレッジにおいて、本科に加え、2年目も引き続き学び続けられる専攻科を設置 (1-40-2)



【東京都立大学プレミアム・カレッジ】

第三期の  
方向性

都民生活の質的向上に向けた取組の充実

【第3期KPI】

★大型研究プロジェクト 10件以上創設  
★大学発ベンチャー 累計10社設置

- 外国語教育室を設置し、令和4年度からの新英語教育プログラムを検討
- 開設5年目となる国際副専攻コースのカリキュラムの見直し及び積極的な広報を実施
- 新たな国際交流プログラムであるGCCの実施、GPACへの参加、GDCの試行開催
- 東京2020大会を機に海外大学の学生との交流の促進等を図るため、「五大陸国際学生シンポジウム」を開催



【五大陸国際学生シンポジウム】

【国際副専攻コース  
設立5周年記念セミナー】

グローバル化

## ◆学生の海外派遣・留学生受入れの拡充

- ★学生の留学意欲向上に資するガイダンスや授業等を着実に実施 (1-43)
- ★令和4(2022)年度までに外国人留学生を900人程度まで拡大 (1-46)
- ★SATOMUプログラムを充実させ、短期留学生のニーズに応じた教育を展開 (1-46)
- ・都市外交人材育成基金を活用し、大学院へ優秀な外国人留学生を受入れ (1-47)



【都市外交人材育成基金年次総会】

## ◆海外大学等との連携強化

- ・交流重点校と活発な教育交流・研究交流を実施 (1-51)
- ・海外大学の学生等との議論や交流を通じ、学生の国際感覚を養うとともに、コミュニケーション力、課題発見・解決力を養成するため、グローバル・コミュニケーション・キャンプ(GCC)の実施、グローバル・パートナーシップ・オブ・アジアカレッジズ(GPAC)への参加、グローバル・ディスカッション・キャンプ(GDC)を正式開催 (1-51)



【GPAC 2019】

第三期の  
方向性

国際的な教育研究環境構築の推進

【第3期KPI】

★学生の海外派遣総数 1,350人程度  
★外国人留学生数 900人程度  
★都市外交人材育成基金留学生数 240人程度

- 将来構想検討委員会等を中心に、令和2(2020)年度からの研究科(1専攻3コース)の教育体制を検討
- PBL型教育に関するノウハウをまとめたAIIT PBL Method(日本語版・英語版)を広く社会に公開
- 未来のプロフェッショナルの発掘・育成を目的として、「次世代技術が支える働き方改革」をテーマに第3回ITとデザインエンジニアリングソリューションコンテストを開催
- 高度専門職人材教育に関する研究成果を発信するAIIT高度専門職人材教育研究センターを設置



【ITとデザインエンジニアリングソリューションコンテスト ポスター】



- 都や区市町村等との連携を通じて、産業振興や生涯学習事業に活かす取組を協働で推進
- 専門職コミュニティの形成推進のため、AIITマンスリーフォーラムを開催し継続的な修学の場を提供
- 「東京都檜原村における地域ビジネスを考える」をテーマにAIITシニアスタートアッププログラムを履修証明プログラムとして開講



【AIIT 八丈島セミナー】

- グローバルPBLや国際コースによるグローバル人材育成を推進
- APEN(アジア高度専門職人材育成ネットワーク)第1回総会を八丈島で開催
- AIITサマーコースにおいてエジプト学生を受入れるなど、特色ある教育研究の取組を国内外に広く発信

### ◆ 社会情勢や産業界のニーズを反映した教育体制

★新たに設置する産業技術専攻の学位プログラム(3コース)を着実に実施し、産業界においてイノベーションを担う人材を育成(2-01)

### ◆ 高度専門職業人としての資質を有する学生の確保

- ・ロールモデル集、AIIT PBL Method等を活用した企業等へのアプローチ、SNS等での積極的な情報発信(2-11)
- ・研究科再編により刷新した大学院案内等広報物やリニューアルしたHP等を活用して多様なPRを実施(2-11)
- ・大学院説明会を年間10回開催し、参加者250名を確保(2-11)

### ◆ 高度専門職教育に関する教育手法等の研究及び成果の発信

- ・PBL型教育の推進及び教員のPBL型教育に関する能力・技術の向上を図るため、PBL研究会を実施(2-12)
- ・アクティブ・ラーニングを積極的に導入し、教育効果を検証(2-12)
- ・AIIT高度専門職人材教育研究センターにおいて、高度専門職人材育成に関する教育研究の成果を発信(2-13)



【新専攻(産業技術専攻)の概要(3コース体制)】

#### 【第3期KPI】

- ★大学院説明会参加者数 年間250名超
- ★PBL研究会参加率 教員の90%
- ★アクティブ・ラーニング導入 全授業の8割

第三期の方向性

高度専門職業人育成のための教育プログラム展開、志願者獲得

### ◆ 社会との連携及び産業振興

#### 対応報告事項

- ・中小企業支援のためのリーフレットを活用しPRするとともに、都や区市町村のイベント等積極的に参加し、政策課題に対するシンクタンク機能をさらに発揮(2-15)

### ◆ 社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実

- ・継続学修の場であるAIITフォーラムを着実に実施するなど、学修コミュニティの更なる充実を推進(2-09,2-18)

★文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP)に認定されたAIITシニアスタートアッププログラムをブラッシュアップして開講(2-09,2-18-2)



【AIITシニアスタートアッププログラム(令和元年度)】

第三期の方向性

産業振興への貢献、社会人の学修支援

#### 【第3期KPI】

- ★AIITフォーラム参加者数 年間600人程度

### ◆ グローバル人材の育成及びアジア諸国等の大学との連携

- ・グローバルPBL等の教育プログラムや学生がグローバル人材として獲得すべき能力指標を活用した教育を実施(2-19)
- ・アジア諸国等の大学ネットワークを活用し、PBL型教育について国内外に広く発信するとともに、各大学との交流を促進し、連携を強化(2-20)



【第74回国連総会議長他来訪】

第三期の方向性

グローバルに活躍する高度専門職業人の育成

#### 【第3期KPI】

- ★グローバル人材能力指標達成割合 全学生の8割

## 現状

## (令和元(2019)年度までの主な取組)

- 品川の本科教育の再編、荒川のコース横断型医工連携プロジェクトの実施に向けた検討・調整
- 2つの職業教育プログラムを開設し、令和元(2019)年度までに両プログラムで初の修了生を輩出
- エンジニアリングデザイン教育やアクティブ・ラーニングの促進、専攻科SAの育成・配置
- 特別推薦入試制度拡大に向けた調整、HPリニューアルやSNSを活用した積極的な広報
- 2大学1高専連携事業「第三期共同研究～専攻科Co-Labo.」による共同研究



【職業教育プログラム(情報)】



【職業教育プログラム(航空)】

## 教育・研究

## 令和2(2020)年度 年度計画



## 高専

## ◆新しいものづくりを牽引する実践的技術者の育成

- ★(品川) 令和4(2022)年度**本科教育の再編**に向けた準備や周知  
(荒川) **コース横断型医工連携プロジェクト**に係る令和3(2021)年度開始の教育プログラムの準備、リカレント教育・共同研究の関係機関との調整 (3-00)

★産業界や社会の人材ニーズを踏まえ、**情報セキュリティ技術者育成プログラム**及び**航空技術者育成プログラム**を着実に実施し、**修了生を輩出(3-01)**

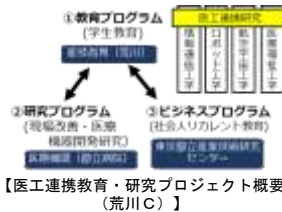
## ★情報セキュリティ教育として研究生受入れや社会人向けプログラムを実施 (3-01)

◆**学生生活支援、意欲的な学生の確保**

- ・国の高等教育修学支援新制度や多子世帯への授業料支援制度の開始 (3-13)
- ・**キャリアポートフォリオ**を活用したキャリア支援の試行 (3-14)
- ・令和4(2022)年度から拡大する**荒川区・品川区の特別推薦入試制度**の中学生への周知や、意欲ある学生確保に向けた広報戦略の実施 (3-15,3-17)

◆**ものづくりスペシャリストの育成に資する研究活動の活性化** (3-18,3-20)

- ・URAと連携し高専のニーズに応じた外部資金獲得に資する支援等の強化、都立大や産技大との共同研究の拡充 (3-18,3-20)



第三期の方向性

新しいものづくりを牽引する技術者教育

【第3期KPI】

★職業教育プログラム修了生  
情報**50名以上**・航空**20名以上**輩出

## 社会貢献

- オリンピック・パラリンピックを見据えた「快適環境マップ」の作成・開発
- 若年層の技術者教育の一環として中学生向け情報セキュリティ研修を実施
- 警視庁と連携し、品川区中小企業向けの実体験型サイバーセキュリティセミナーを開催



【「快適環境マップ」発表会】

◆**ものづくり人材の育成や技術者の学び直し等の支援**

- ・若年層からの情報セキュリティ技術者教育に貢献すべく、**中学生向け情報セキュリティ研修**を実施 (3-22)
- ・都職員向けの情報セキュリティに関する研修を開始 (3-22)
- ★オープンカレッジ等の技術者支援講座の開講、マルウェア感染体験システムを改修した品川区の中小企業対象の実機訓練を実施 (3-24)

対応報告事項



【Cyber Security TOKYO for Junior】



【ICT基礎Lab. for Junior】

第三期の方向性

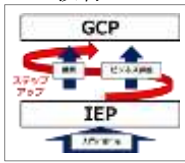
ものづくり技術者支援の充実

【第3期KPI】

★オープンカレッジ技術者育成講座 **倍増**

## グローバル化

- 海外体験プログラムを再編し、より実践的な内容に強化
- JABEEプログラムに対応した教育カリキュラムの実施
- 英語学習支援のための国際交流ルームの設置、専攻科一部専門科目の英語教育導入に向けた検討の開始

◆**国際的に活躍できる技術者の育成**

- ・令和3(2021)年度のJABEE受審のための準備、令和5(2023)年度**専攻科一部科目の英語教育導入**に向けた検証 (3-03,3-06,3-25,3-26)
- ★**2つの海外体験プログラム(GCP・IEP)**を**70名の参加者**を確保して実施、実施後の検証結果に基づく研修内容の改善 (3-05,3-27)



【海外体験プログラム(GCP)】



【海外体験プログラム(IEP)】

第三期の方向性

グローバル化に対応できる技術者教育の推進

【第3期KPI】

★海外体験プログラム  
★JABEE受審  
参加者年間**70名程度**  
令和3(2021)年度

- 法人の重点事業に対する適正な進捗管理、法人予算全体の収支構造を中長期的に見据えた財政運営等
- 「GOS」関連事業の推進等のトップマネジメントの強化、大学・法人の名称変更等を契機とする各大学・高専の認知度やプレゼンスの向上を図る取組を検討
- コンプライアンス確保・向上のための内部統制に係る体制を整備、都や区市町村等との連携事業を推進する組織を強化
- 2大学1高専の特性に合わせた教員人事制度の導入、将来を見据えた「選択と集中」の観点に立った教員定数設定
- 大学高専連携事業基金を活用した国際連携プログラムや共同研究等の実施、2大学1高専の新たな連携の在り方(案)の策定
- 「人材育成プログラム」に基づく法人職員のSD活動の展開、海外研修や英語研修等の実施による国際化に対応する職員の育成を推進
- 働き方改革推進PTを設置、定例業務の自動化の試行やテレビ会議システムの活用等の共通業務の効率化や多様な働き方の実現に向けた取組を実施
- 各大学・高専の認知度向上のため法人情報発信戦略PTを設置、専門家の知見を活用した広報活動を展開
- セキュリティ組織(CSIRT)の設置、セキュリティ教育の充実、インシデント対応体制の維持向上
- 女性研究者研究支援員制度、学内保育施設の開設、障がい者差別解消やハラスメント防止に関する研修の実施

## ◆ 戦略的な法人経営の展開

- ・大学・法人の名称変更を行い、各大学・高専のプレゼンス及び認知度の更なる向上に向けた取組を推進、都長期戦略に留意した施策展開に経営トップ層の意向を反映するなど**トップマネジメントを強化 (4-01)** **対応報告事項**
- ・「TMU Vision 2030」等の各大学・高専の将来構想に基づいた、**教学マネジメントを推進**、それらの取組を**法人として一層の支援 (4-02)** **対応報告事項**
- ・法人のコンプライアンス確保・向上のための内部統制体制等を適切に運用、**大学院入試問題漏えい等の事故を受け、令和元(2019)年度に取りまとめた再発防止策の実施 (4-01)**

## ◆ 業務運営の改善、財務・施設基盤の整備

- ・**新財務会計システムや施設予約システムの運用開始**、働き方改革推進PTでの議論等の結果を踏まえた職員の働き方改革の方向性を明示するなど**多様な働き方の実現や共通業務の効率化**へ向けた取組・検討の推進**(4-13,4-14)**
- ・寄附金受付システムのHP周知やクラウドファンディングによる寄附募集の一層の推進、**寄附受入拡大に向けた更なる手法やツールの拡充 (4-16)**
- ・都立大の将来像を見据えた**キャンパスグランドデザイン**とキャンパス管理の機動性・柔軟性を確保する**施設の再配置計画及びマネジメントルールを策定**、令和5(2023)年度からの**日野キャンパス新施設の供用開始に向けた実施設計 (4-24)**



【働き方改革関連セミナー】



【寄附案内パンフレット】

## ◆ 情報発信等の強化

- ・(法人) 令和元(2019)年度に行った**広報の効果検証**を実施、**法人全体のプレゼンス向上**に資する広報を展開  
(都立大) **HP等自主広報媒体の内容の充実や新規媒体の制作**など情報発信を強化  
(産技大) **ロールモデル集、AIIT PBL Method、SNS等を活用**した積極的な情報発信  
(高専) **第三期中期計画後期の高専広報戦略**に基づく広報活動を実施
- ・**卒業生・同窓会等との連携強化策**を検討・実施し愛校心を醸成 **(4-23)**



【名称変更の告知兼PRの動画】

## ◆ 法令遵守等の取組

- ・**全学的な研究コンプライアンス意識の一層の向上**を図るため、教職員等を対象にeラーニング等による**研究コンプライアンス研修**を実施 **(4-30)**
- ・**教職員のセキュリティ意識及びリテラシーの向上**、令和元(2019)年度のシステム監査結果を踏まえた**システム適正化方針の策定**、働き方改革に資するシステム環境整備 **(4-31)**

戦略的な法人経営を支える基盤強化

認知度・ブランド力の向上

将来構想等に基づく教学マネジメント強化

卒業生等と構成員の一体感の醸成

2大学1高専の連携の促進

社会的責任を果たすための体制強化

## 【第3期KPI】

- ★TOEICスコア600点以上 **全職員の25%以上**
- ★女性教員比率(都立大) **全教員の20%**